

岩手県感染症週報

平成18年第7週（2月13日～2月19日）

岩手県結核 感染症情報センター

第7週の概要

1 類感染症

2 類感染症

3 類感染症

・患者発生の報告はありませんでした。

4 類感染症

5 類感染症（全数把握対象疾患）

・患者発生の報告はありませんでした。

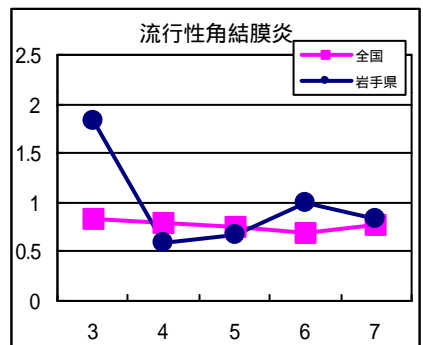
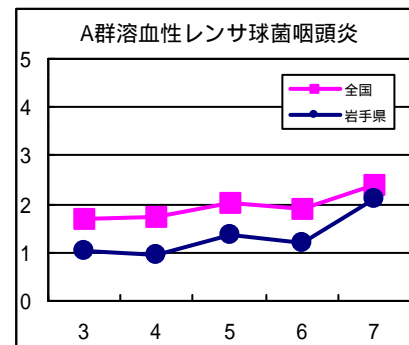
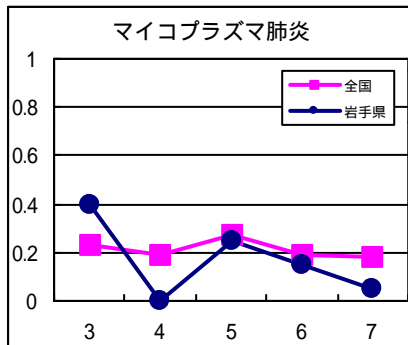
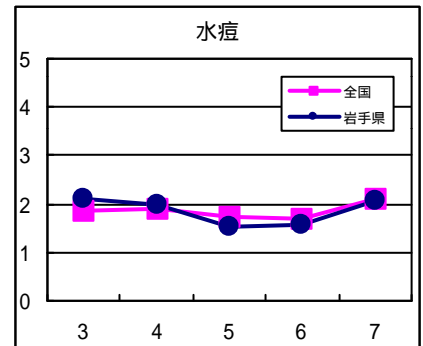
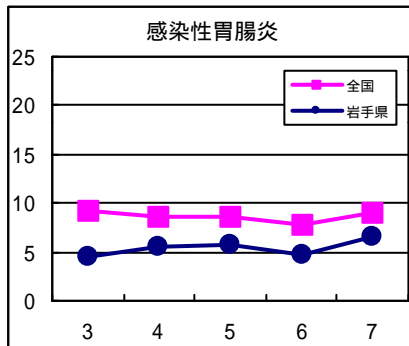
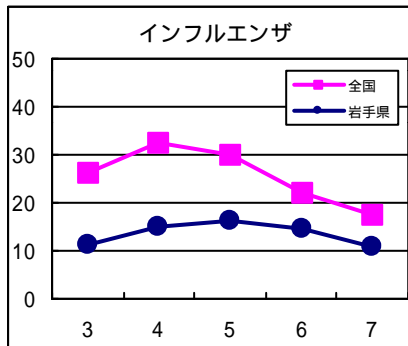
5 類感染症（定点把握対象疾患）

・インフルエンザは、前週より引き続き患者数が減少しています。前週にもっとも患者数が多かった大船渡地区は、定点当たり患者数が43.2人から23.7人と大きく減少しました。この週には県内で警報値（同患者数30.0人）を超えている地区はありません。また、盛岡、一関、久慈の三地区では患者報告数が注意報値（同患者数10.0人）を下回っており、これらの地区では流行は終息へ向かうものと予想されます。しかし、花巻、水沢、二戸地区では、2月にはいり一旦患者数は減少したものの、この週にはやや増加傾向にあるので、今後とも注意が必要です。全国的には患者数は前々週から減少し始めており、今後の動きが注目されます。

・溶レン菌咽頭炎は、各地で患者が増加しています。この週には釜石地区で3週続けて警報値（定点当たり患者数4.0人）を超えており、北上、久慈地区でも患者数が大きく増加し警報値を超えています。全国的にも同時期では過去10年間でもっとも多い患者数が報告されているので注意が必要です。感染の予防にはふつうの風邪と同じく、うがいや手洗いが有効です。また、せき、くしゃみなどの症状がある方は、マスクなどで他人への飛沫感染をふせぐなど「咳エチケット」を心がけることが大切です。

最近の注目疾患（定点あたり患者数の過去5週の動き）

（疾患によって目盛りのスケールが違うことに注意）



定点把握対象疾患（過去5週の動き）

（定点あたり患者数）

疾病名	地域	週					流行傾向	
		3	4	5	6	7		
インフルエンザ	岩手県	11.21	15.08	16.11	14.67	10.86	↘	
	全国	26.21	32.37	30.09	21.88	17.42		
咽頭結膜熱	岩手県	0.03	0.08	0.03	0.05	0.03	→	
	全国	0.23	0.22	0.24	0.26	0.28		
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	岩手県	1.05	0.95	1.36	1.18	2.1	↗	
	全国	1.69	1.73	2.04	1.91	2.38		
感染性胃腸炎	岩手県	4.46	5.56	5.69	4.72	6.59	↗	
	全国	9.18	8.56	8.58	7.71	9.08		
水痘	岩手県	2.1	2	1.54	1.59	2.08	→	
	全国	1.86	1.92	1.74	1.71	2.12		
手足口病	岩手県	0.26	0.41	0.08	0.08	0.15	→	
	全国	0.08	0.09	0.08	0.07	0.08		
伝染性紅斑	岩手県	0.03	0.21	0.15	0.13	0.08	→	
	全国	0.33	0.32	0.24	0.2	0.25		
突発性発疹	岩手県	0.46	0.46	0.31	0.44	0.41	→	
	全国	0.6	0.57	0.51	0.5	0.58		
百日咳	岩手県	0.03	0	0	0	0	→	
	全国	0.01	0	0	0	0		
風疹	岩手県	0	0	0	0	0	→	
	全国	0	0	0	0	0		
ヘルパンギーナ	岩手県	0.21	0.23	0.28	0.15	0.13	→	
	全国	0.03	0.03	0.03	0.03	0.03		
麻疹（成人麻疹を除く）	岩手県	0	0	0	0	0	→	
	全国	0	0	0	0	0		
流行性耳下腺炎	岩手県	0.54	0.62	0.31	0.51	0.51	→	
	全国	1.06	1.05	1.24	0.94	1.33		
急性出血性結膜炎	岩手県	0	0.17	0	0	0	→	
	全国	0.02	0.02	0.02	0.03	0.02		
流行性角結膜炎	岩手県	1.83	0.58	0.67	1	0.83	→	
	全国	0.83	0.8	0.76	0.7	0.77		
RSウイルス感染症（患者報告数）	岩手県	0	0	0	0	0	→	
	全国	507	655					
細菌性髄膜炎	岩手県	0	0	0	0	0	→	
	全国	0.01	0.01	0.01	0.01	0		
無菌性髄膜炎	岩手県	0	0	0	0	0	→	
	全国	0.01	0.03	0.02	0.03	0.01		
マイコプラズマ肺炎	岩手県	0.4	0	0.25	0.15	0.05	→	
	全国	0.23	0.19	0.27	0.19	0.18		
クラミジア肺炎（オウム病を除く）	岩手県	0	0	0	0	0	→	
	全国	0.02	0.02	0.01	0.01	0.01		
成人麻疹	岩手県	0	0	0	0	0	→	
	全国	0	0	0	0	0		

【流行傾向の見方】

- 無印 : ほとんど患者が発生していません
- : 患者が発生しています
- ↗ : 警報値を超えた地区が1～2地区あります
- ↘ : 多くの地区で警報値を超えています

全数把握対象疾患（過去5週の動き）									(患者発生数)	
分類	疾病名	岩手県					全国			
		(週) 3	4	5	6	7	累計	7	累計	
一類 感染症	エボラ出血熱	0	0	0	0	0	0	0	0	
	クリミア・コンゴ出血熱	0	0	0	0	0	0	0	0	
	ペスト	0	0	0	0	0	0	0	0	
	マールブルグ病	0	0	0	0	0	0	0	0	
	ラッサ熱	0	0	0	0	0	0	0	0	
二類 感染症	コレラ	0	0	0	0	0	0	0	5	
	細菌性赤痢	0	0	0	0	0	0	8	54	
	腸チフス	0	0	0	0	0	0	1	9	
	パラチフス	0	0	0	0	0	0	0	2	
	急性灰白髄炎	0	0	0	0	0	0	0	0	
	ジフテリア	0	0	0	0	0	0	0	0	
三類	腸管出血性大腸菌感染症	0	0	0	0	0	0	9	61	
四、 五類 感染症	アメーバ赤痢	0	0	0	0	0	0	4	66	
	エキノкокクス症	0	0	0	0	0	0	0	5	
	黄熱	0	0	0	0	0	0	0	0	
	オウム病	0	0	0	0	0	0	0	4	
	回帰熱	0	0	0	0	0	0	0	0	
	急性ウイルス性肝炎	0	0	0	0	0	0	0	24	
	Q熱	0	0	0	0	0	0	0	0	
	狂犬病	0	0	0	0	0	0	0	0	
	クリプトスポリジウム症	0	0	0	0	0	0	0	1	
	クロイツフェルト・ヤコブ病	0	0	0	0	0	0	1	23	
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	0	0	0	0	0	0	3	19	
	後天性免疫不全症候群	0	0	0	0	0	1	14	128	
	コクシジオイデス症	0	0	0	0	0	0	0	0	
	ジアルジア症	0	0	0	0	0	0	0	8	
	腎症候性出血熱	0	0	0	0	0	0	0	0	
	髄膜炎菌性髄膜炎	0	0	0	0	0	0	0	3	
	先天性風疹症候群	0	0	0	0	0	0	0	0	
	炭疽	0	0	0	0	0	0	0	0	
	ツツガムシ病	0	0	0	0	0	0	0	12	
	デング熱	0	0	0	0	0	0	1	4	
	日本紅斑熱	0	0	0	0	0	0	0	0	
	日本脳炎	0	0	0	0	0	0	0	0	
	乳児ボツリヌス症	0	0	0	0	0	0	0	0	
	梅毒	1	0	0	1	0	2	5	60	
	破傷風	0	0	0	0	0	0	2	5	
	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	0	0	0	0	0	0	0	5	
	ハンタウイルス肺症候群	0	0	0	0	0	0	0	0	
	Bウイルス病	0	0	0	0	0	0	0	0	
	ブルセラ症	0	0	0	0	0	0	0	0	
	発疹チフス	0	0	0	0	0	0	0	0	
	マラリア	0	0	0	0	0	0	0	4	
	ライム病	0	0	0	0	0	0	0	0	
レジオネラ症	0	0	0	0	0	0	8	49		
ウエストナイル熱	0	0	0	0	0	0	0	0		

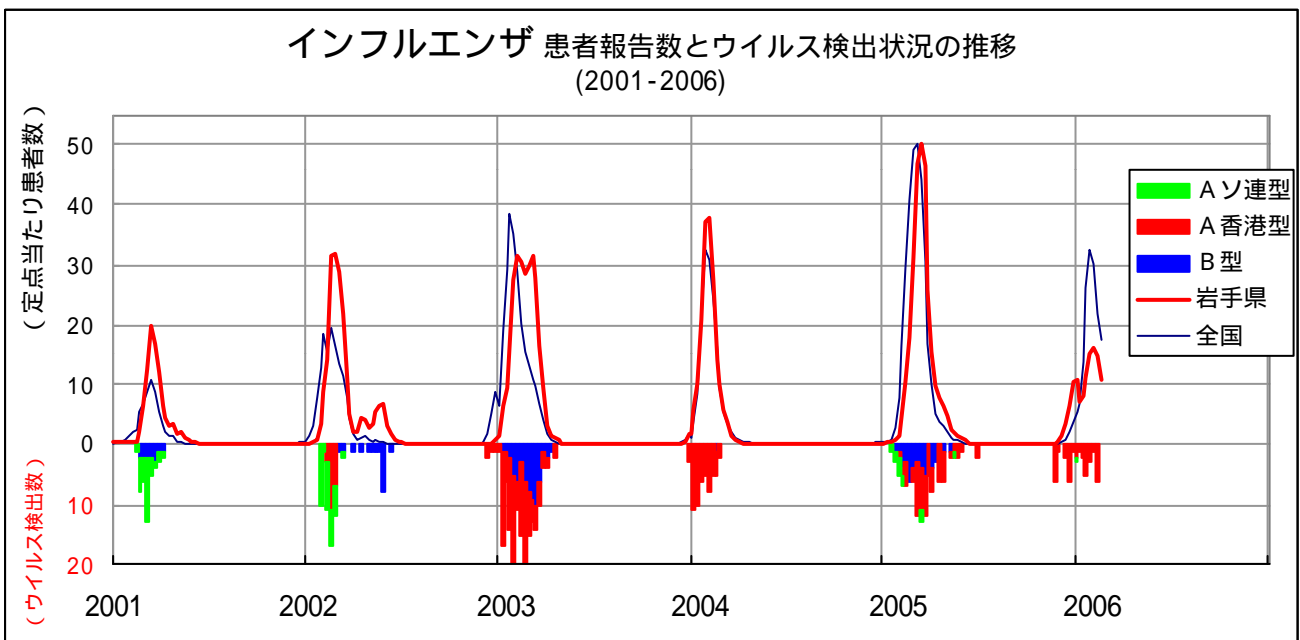
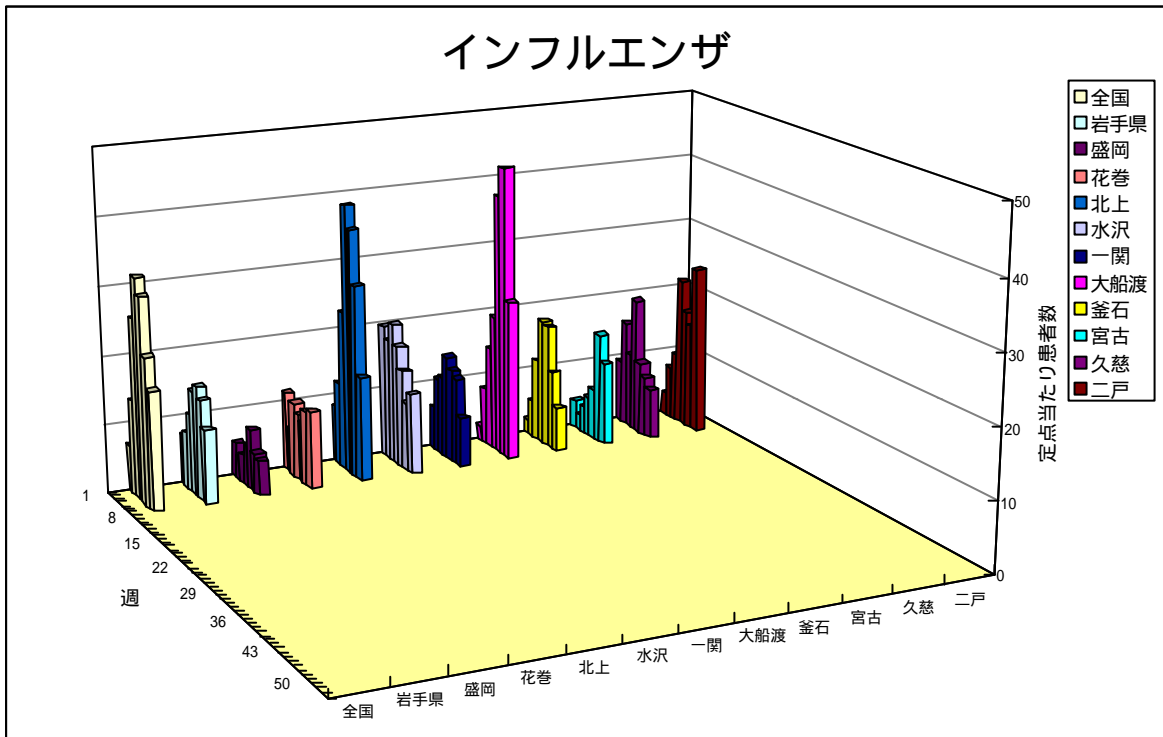
昨年11月5日に感染症法が改正されたことに伴い、調査対象疾患が一部改正されましたが、本週報では当面の間、改正前の分類による情報をお届けしております。
できるだけ早い時期に、新しい分類による情報をお届けするよう準備していますので、ご了承ください。

今注目の感染症

インフルエンザ

インフルエンザは、例年、12月頃から患者数が増え始め、2～3月が流行のピークであるが、今シーズンは、盛岡地区では、11月に集団感染による学校閉鎖措置がとられた小学校もあり、例年よりも早い流行状況となっている。12月には年末年始休などにより、一時患者が減少したが、1月初旬から下旬にかけて患者数は再び増加した。2月第1週をピークに患者数は減少を続けており、このまま流行が終息すれば、本年のインフルエンザの流行は例年よりかなり小規模であると言える。

環境保健研究センターの病原体検査では、11月にA香港型、12月にはAソ連型インフルエンザウイルスが分離検出されている。



病原体検出情報

- ・無菌性髄膜炎の患者の髄液からムンプスウイルスを1例分離検出しました。
- ・流行性角結膜炎の患者の結膜拭い液からアデノウイルス3型を2例分離検出しました。

医療機関からの情報

盛岡地区の医療機関から

- ・インフルエンザは下降気味であるが、下痢・嘔吐の患者が増加傾向である。ロタウイルスも流行し始めたので注意が必要だ。

集団感染情報

インフルエンザ様疾患による施設閉鎖措置等の状況（2/23まで）

岩手県	盛岡	花巻	北上	水沢	一関	大船渡	釜石	宮古	久慈	二戸
54	15	3	6	3	5	12	0	4	1	5

一関市内の保育園において、嘔吐・下痢を主症状とする有症事例の発生があり、複数の有症者から「ロタウイルス」が検出されました。

- ・発症日時：2/14～17
- ・発症者の状況：入所者34名、職員2名
- ・感染経路等：不明

遠野市内の旅館において、ノロウイルスによる食中毒事例の発生がありました。

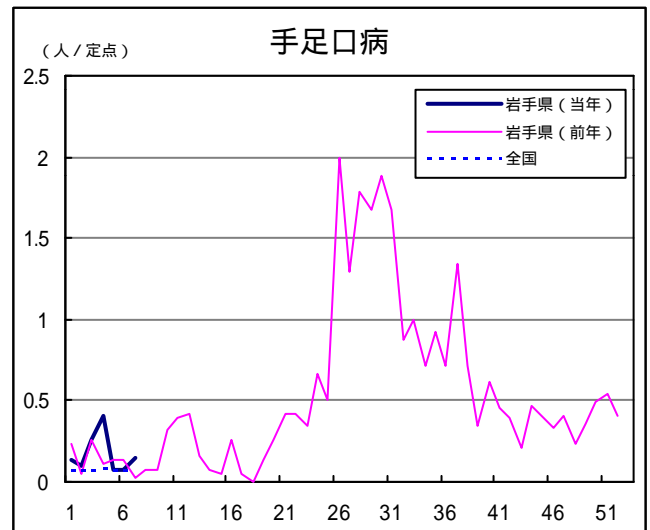
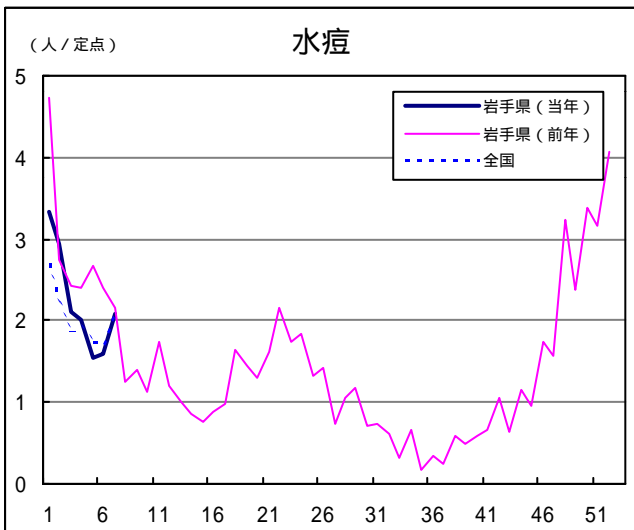
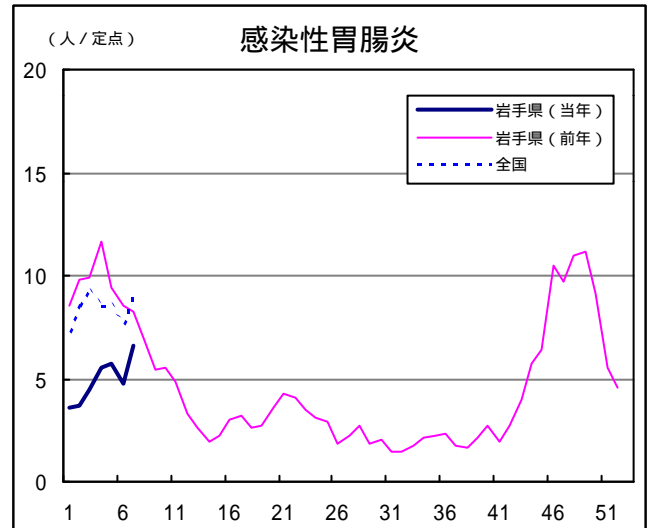
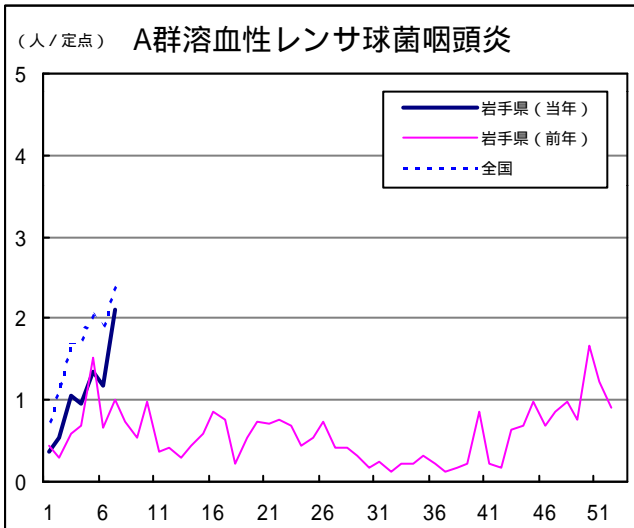
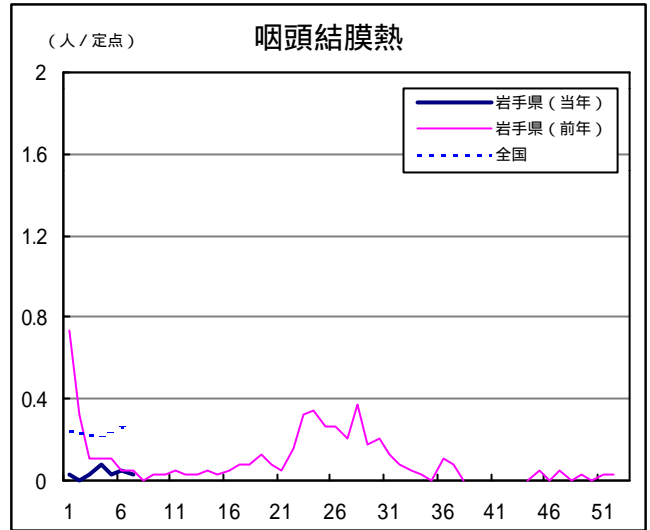
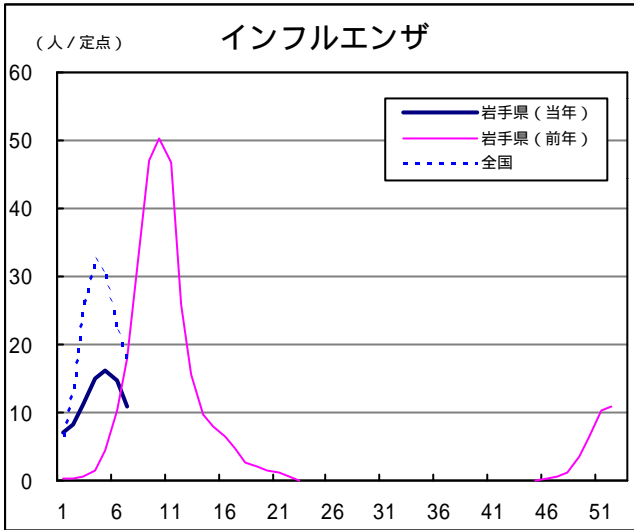
- ・発症日時：2:21
- ・発症者の状況：宿泊者3名
- ・原因食品：2/19の食事と推定

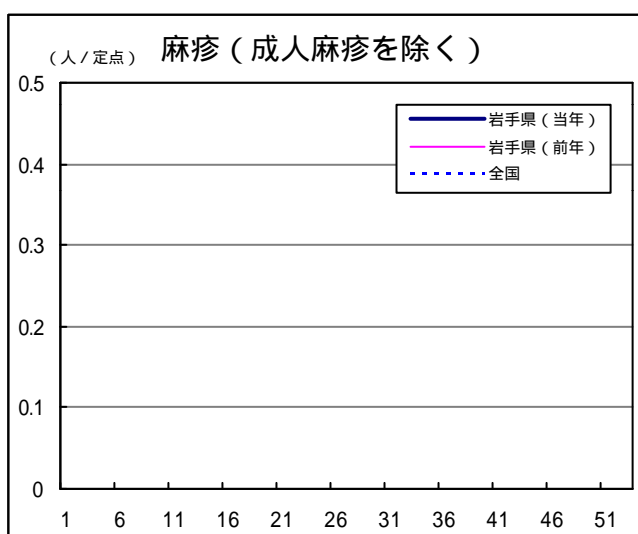
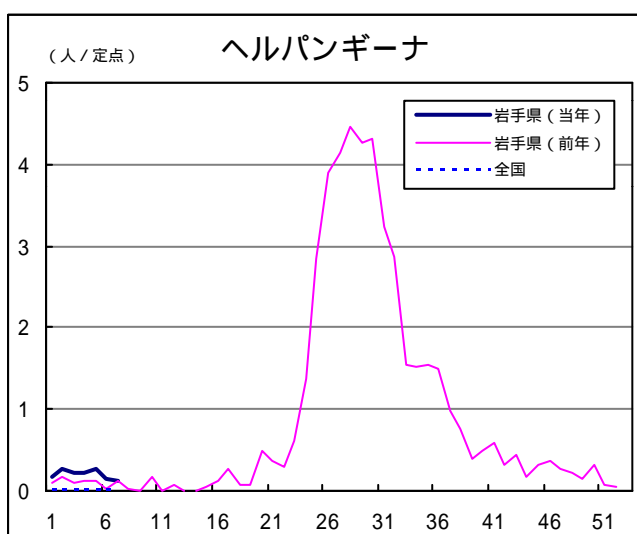
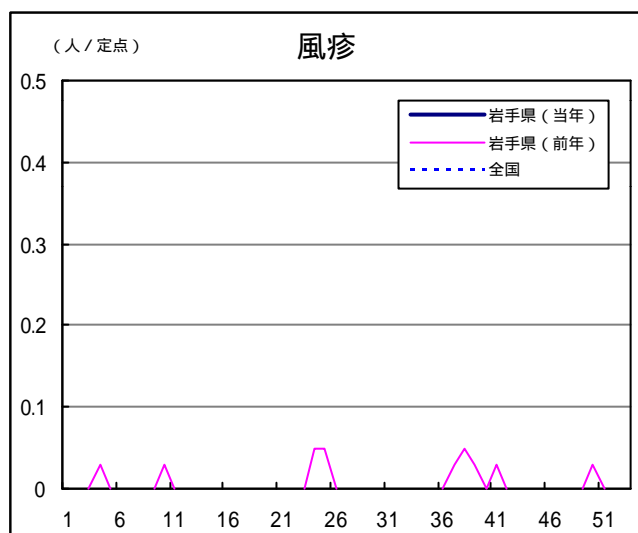
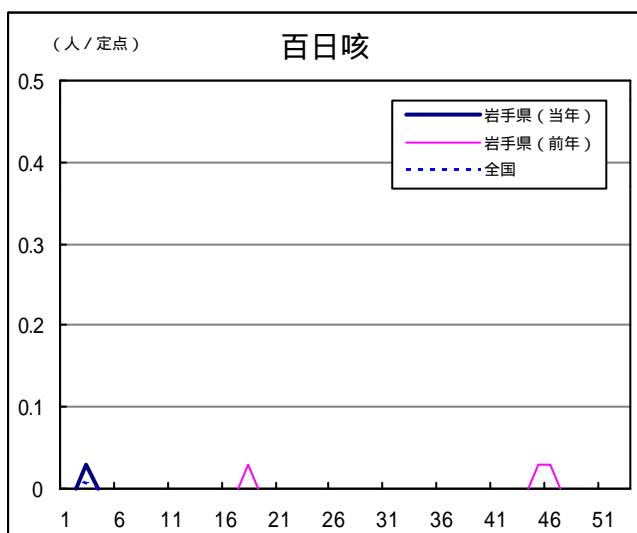
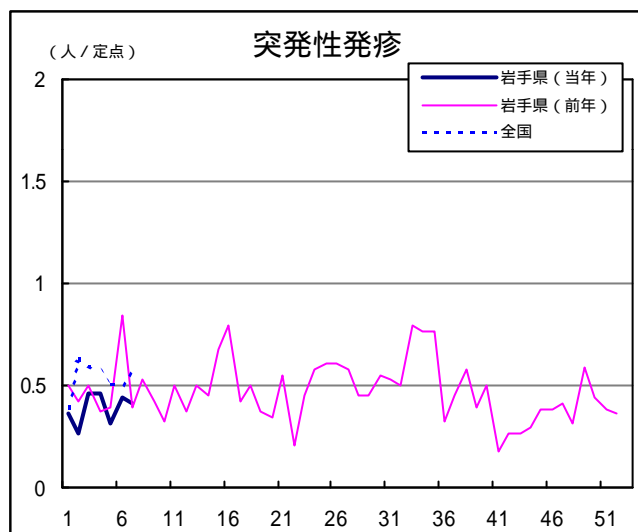
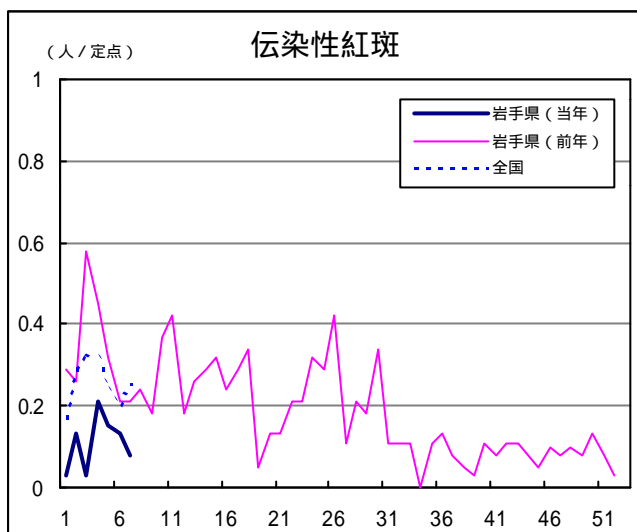
Q & A

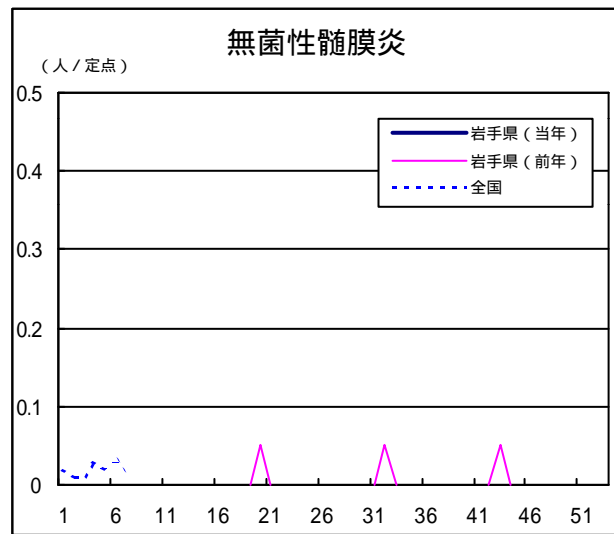
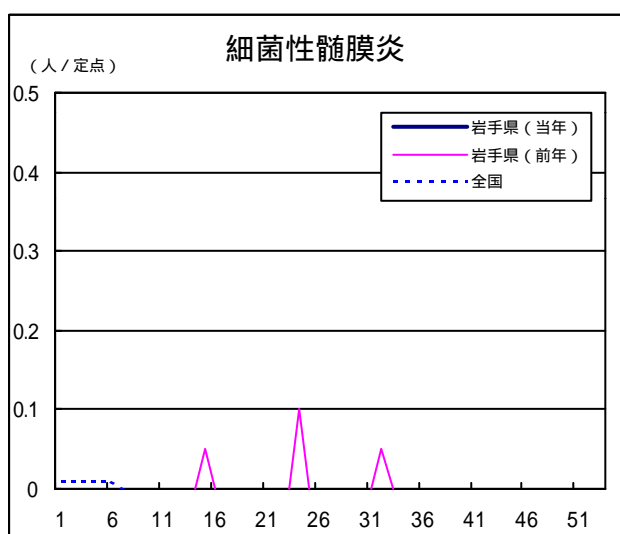
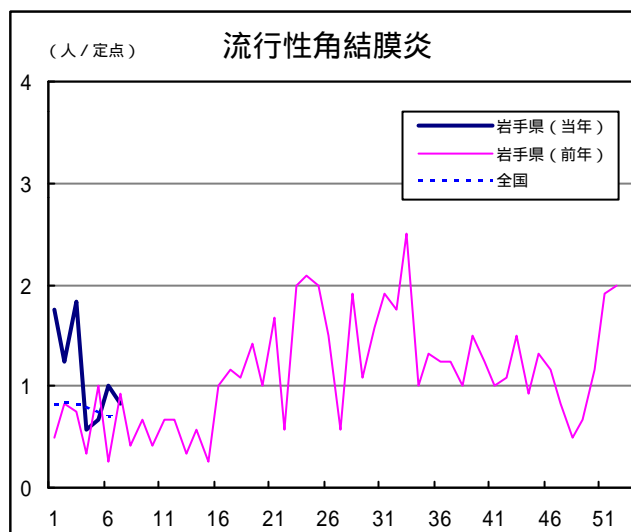
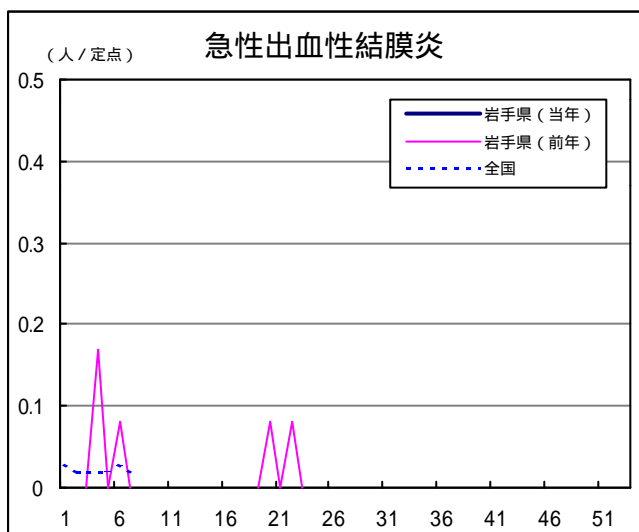
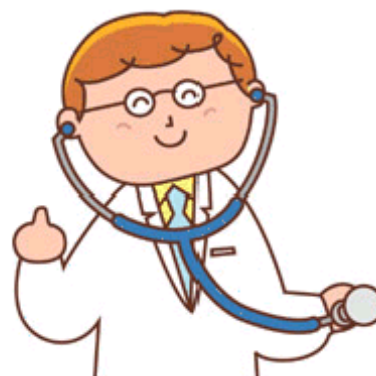
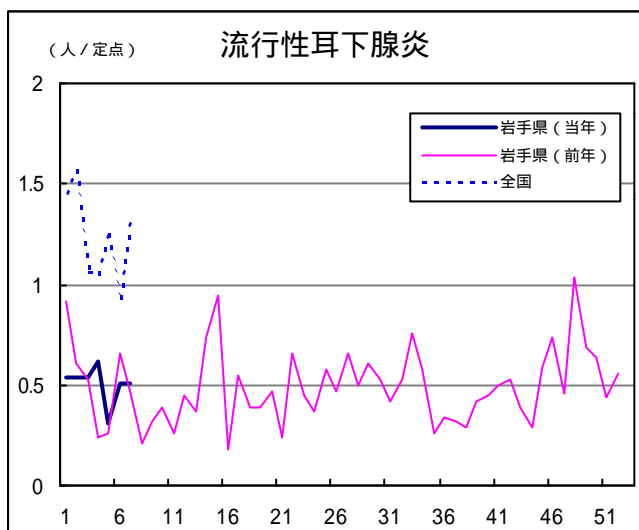
読者の皆様からのご質問にはこの欄でお答えします。

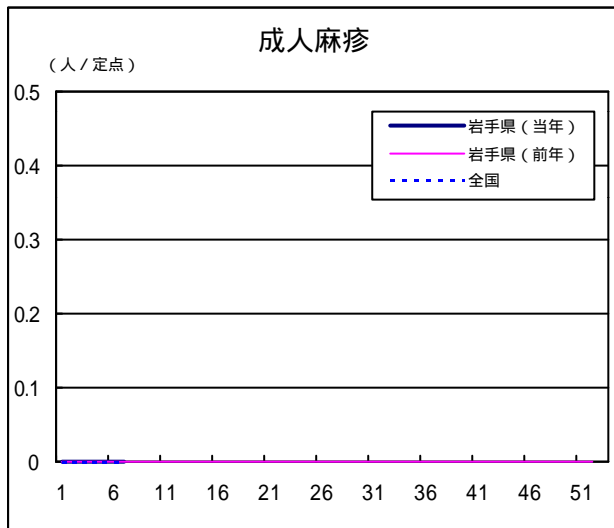
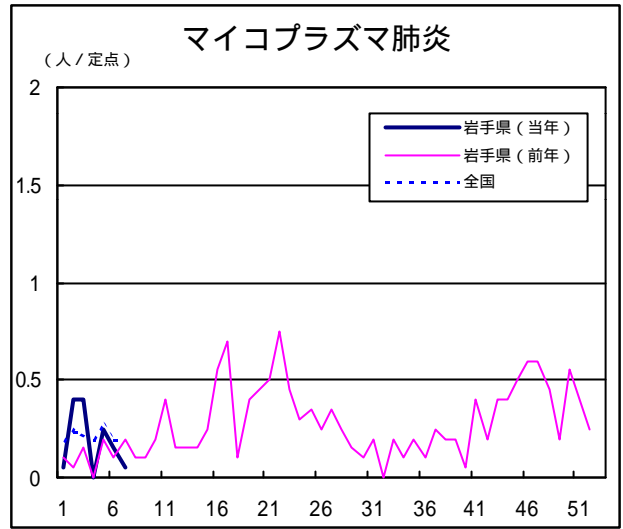
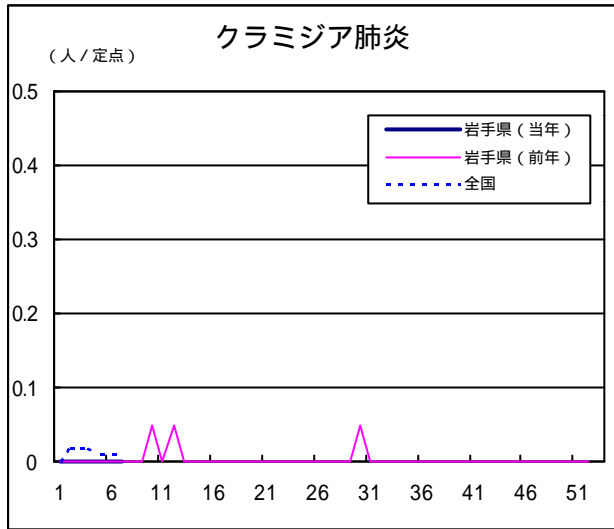
医療機関からの情報や読者の皆様からのご質問は下記の宛先までお寄せください。
 岩手県結核・感染症情報センター（岩手県環境保健研究センター保健科学部内）
 〒020-0852 岩手県盛岡市飯岡新田1-36-1
 TEL:019-656-5669（直通） FAX:019-656-5667
 E-mail:CC0019@pref.iwate.jp

疾病別グラフ（定点あたり患者数の推移）









定点医療機関の数

地区	インフルエンザ	小児科定点	眼科定点	基幹定点
岩手県	63	39	12	20
盛岡	17	11	3	5
花巻	5	3	1	2
北上	5	3	1	2
水沢	7	4	1	2
一関	7	4	1	2
大船渡	6	4	1	1
釜石	5	3	1	2
宮古	5	3	1	1
久慈	3	2	1	1
二戸	3	2	1	2

無料です!!

岩手の感染症情報を毎週メールでお届けする
「岩手県感染症情報ウィークリーマガジン」を配信しています。
 配信の登録は以下のURLからお願いします。
<http://www.pref.iwate.jp/~hp1353/kansen/mailmagazine.html>

岩手県感染症週報 平成18年第7週 平成18年2月24日発行
 監修：岩手県結核・感染症発生動向調査委員会
 発行：岩手県環境保健研究センター
 岩手県保健福祉部保健衛生課
 事務局：岩手県結核・感染症情報センター
 (岩手県環境保健研究センター保健科学部内)
 〒020-0852 岩手県盛岡市飯岡新田1-36-1
 TEL:019-656-5669 (直通) FAX:019-656-5667
 E-mail: CC0019@pref.iwate.jp
 URL: <http://www.pref.iwate.jp/~hp1353/kansen/>
 <岩手県結核・感染症情報センター>
<http://www.pref.iwate.jp/~hp0360/>
 <岩手県保健福祉部保健衛生課>